

ガーナでそろばんプロジェクト 63号(2017年 5月28日)

★★ 試行錯誤の結果出した答えがあっているかわからない ★★

二〇一一年の八月から始めたそろばん教室は、子どもたちが頑張って通い続けられるように、練習プリントがある程度終了したらボールペンやノートの文房具のご褒美、また検定に合格するとご褒美、皆勤賞のご褒美など試行錯誤をしながら取り組んできました。試行錯誤は今も続いています。そうした中、皆勤賞では50回、75回と子どもたちに人気のあるマラソンTシャツを贈っています。50回の皆勤賞までの間は「ご褒美がありません。50回通い続けることはとても大変なことです。さらに75回となると大変なことです。75回の次は100回の皆勤賞。これまで

100回の皆勤賞を受賞したのはディビット、クレナム、ブラザーの三人。この時のプレゼントはディビットには離任する駐在員の方から貰った子どもの飛行機のおもちゃ。クレナムには、これも頂きもの中古の卓球ラケット、ブラザーには購入した折りたたみの傘でした。130回の皆勤賞を受賞したのはディビット、クレナムでした。この時のご褒美は中学生クラスの間年の授業料よりもはるかに高い英語辞書です。ガーナでは辞書や参考書はとても高く先生でさえ持っていません。7級から検定合格のご褒美には参考書があります。検定を実施してまで子どもに参考書を贈りたい理由の一つです。ご褒美でけつしてつるわけではないけどこうした検定ご褒美の参考書や皆勤賞がそろばんを頑張って続けられるモチベーションになると信じているからです。その130回の皆勤賞で貰える英語辞書。ブラザーに贈りたいという気持ちはありませんがその回数に手が届かずブラザーは高校受験とともに足が遠のいてしまいました。勉強がよく出来てそろばんのおかげで計算が速くなったと語ってくれたブラザーに対してとても申し訳ない気持ちでいっぱいでした。少し変えてみると贈れる子どもが増える・・・そう思うようになりました。今回、4月にギディオンがめでたく100回目の皆勤賞となりました。そろばん

教室開室231回目のことです。100回目の皆勤賞でギディオンはまだ7級。そう私の中に“まだ7級”というギディオンに対して“なんで？まだ7級かな。ディビットやクレナム、ブラザーが受賞した時はかなり級がいついた”という思いもありかなり悩んでの決断でした。甘い決断だったのかもしれない。いつも悩んで悩んで決断を下すしかなかったです。現在も“どうすればいいのだろう”という悩みがあります。試行錯誤はまだ続きます。なにはともあれ、英語に辞書を手にしたギディオンはとても嬉しそうで、他の子どもたちのモチベーションになったのは間違いないと思います。

報告者 TOSHIKO

